



季節と曜日

季節をあらわす手話は、季節の名前とともに、あたたかさや寒さにかかわる意味もあらわします。曜日の手話は、わかりやすい表現が多いので、ぜひおぼえましょう。

春 「あたたかい」も、おなじ手話であらわすよ

両手の手のひらを上に向け、おなかからおおるようあげる動きをくりかえす

夏 「暑い」「うちわ」「雨」なども、この手話であらわすよ

親指を人さし指にのせた右手のこぶしで、首すじをあおぐ

秋 「すずしい」も、おなじ手話よ

図のように指を広げた両手を顔にちかづけ、手のひらであおぐ動きをくりかえす

冬 寒くてふるえるようす。「寒い」「冷たい」などもあらわすよ

両手のこぶしを顔のようすにむけて、顔とからだをちぢこませ、左右にふるえる

月曜日 ほかに、漢字の「月」をえがく方法もあるよ

指をたてにうごかして三日月をえがく

火曜日 くちびるを、右手の人さし指でさして右へひき「赤」

ゆるく丸めた手をゆらゆらまわしながらあげ、火がもえるようす

水曜日 水が流れるようすだよ

手のひらを上にした右手を、左肩の前から右下に向けてななめにおろす

土曜日 指についた土をこすり落とすしくさ

指をすぼめて下に向け、指先をこすりあわせる

金曜日 金をあらわすよ

親指と人さし指で丸をつくり、左右にふる

木曜日 木の形よ

両手の親指と人さし指をのばして向かいあわせ、図のように上にあげる

日曜日 日曜日は、はじめの動きは同じだけれど、次の動きが関東と関西で少しちがうよ

おもに関東で使われる表現 (共通)

手のひらを下にしてひらいた両手を、からだの前によせてつける

くちびるを、右手の人さし指でさして右へひき

おもに関西で使われる表現

左手の手のひらの上に、右手をグーにしてのせる



めん 麺

世界の「^{めん}麺」の手話は、はしを使う、フォークで食べるなど、国による食べ方のちがいがあらわれています。

日本



はしで食べているよ

のばした人さし指と中指を口もとに2回はこぶ

タイ



おわんをもつように、左手のひらを上に向け、右手の人さし指と中指で麺をすするよう上下にうごかす

イタリア



バスケットをかきあげるようす

両手でチョキをつくり、親指は中指におき、下から2回かきまわす

ノルウェー



右手の人さし指と中指をのばし、左から右へこまかくゆらしながらうごかす

アメリカ



小指が麺をあらわすのよ

両手の小指をのばしてつけ

波をえがきながら、麺をのばすように左右にはなす

ブラジル



フォークでスパゲティをまくイメージだよ

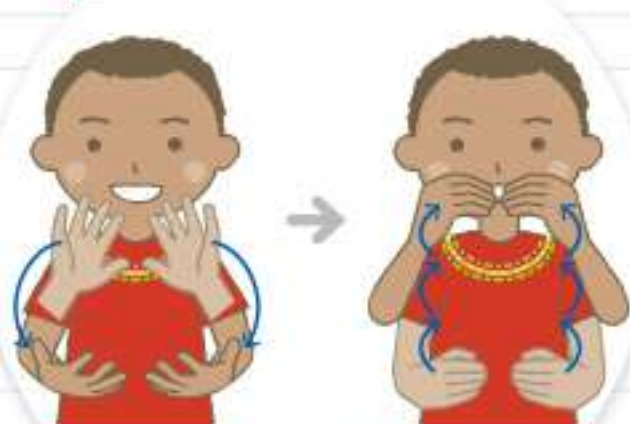
手のひらを上に向けた左手の上で、のばした右手の3本の指をくるくるまわす

モルディブ



親指と人さし指で口に向かって麺をつまみあげるよううごかす

ケニア



広げた両手で球をつくり

親指とほかの4本の指をつけながら上にあげていく

麺は世界の食べもの

麺は、ヨーロッパではイタリア、アジアでは中国で生まれ、各地に伝わったといわれています。アメリカには、ヨーロッパから伝わりました。

ヨーロッパやアメリカで多くの人々が食べている麺は「パスタ」。長いもの、みじかいもの、太いもの、細いものなど十種類もあり、どれも小麦粉からつくられています。

アジアの麺は多彩で、小麦粉だけでなく、そば

粉や米粉からもつくられます。日本では300年ほど前からうどん、そばが広く食べられるようになり、第二次世界大戦後にパスタも普及したのです。

おなじみのインスタントラーメンは、1958年に日本で発明されました。



パスタには、さまざまな種類がある。

北海道②

(道央・道南)

ウニ



北海道は日本一のウニの産地。舌の上でとろけるぞ。

ウニをひらいて箱蓋(食べる場所)をとりだすようす



左手のひらを丸めて、右手の人さし指と中指で手前にかきだすしくさをする



右手の人さし指で左手の腕時計の位置をさし



両手で時計台の建物の形をつくる

時計台



北海道の代表的な観光スポット。札幌の街なかには、1876年に建てられた、国の重要文化財。

さっぽろ雪まつり



札幌市の大通り公園などで2月におこなわれる、雪と氷の祭り。大きな氷の像が見もの。



両手の指をのびしたままクロスさせて網の目をえがいて札幌の街をあらわす



両手の親指と人さし指でつくった小さな丸をヒラヒラとおろして「雪」

内浦湾



みこしをかたいで「祭り」をあらわす

五稜郭は星の形をしているわ

五稜郭



函館市にある、江戸時代に建てられた星形の城。明治時代のはじめ、新政府軍と旧幕府軍の戦いがおこなわれた。

両手の指を、親指もたてたチョキの形にして、星の形にうごかす



民族文化をあらわす手話

アイヌ

北海道を中心に古くから住んでいた人々。アイヌの言葉で「アイヌ」は人間をあらわす。アイヌの文化を紹介する「ウポポイ(民族共生象徴空間)」という施設が白老町にできた。「ムックリ」は、うすい竹の板についたひもをひきながら、口をつけてかなでる楽器。ウポポイでは、上の写真のようなムックリの演奏もおこなわれる。下はウポポイ内にある博物館の展示。



左手でアイヌの楽器「ムックリ」をもち、右手でひもをひいて音をかなでるようす

アイヌの楽器「ムックリ」をかなでるようすの手話で、アイヌの人々や民族の文化もあらわしています。

ムックリの音色、きいてみたいわ

ジンギスカン



うすく切ったヒツジの肉を野菜といっしょに焼いて食べる。北海道を代表する郷土料理。



両手の人さし指で、ヒツジのツノのようにこめがみに向けて円をえがく



右手をチョキの形にしてひっくりかえす

この手話はヒツジだよ

これは焼くようす

ホタテ



貝柱が大きい二枚貝。焼いても、さしみにしてもおいしい。瀬棚産は北海道が日本で、オホーツク海や内浦湾など各地でとれる。



両手の指を圓のように組みあわせ、右手をあげてひらく

貝の形わ

メロン



夕張メロンをはじめ北海道メロンの多くは、甘くてジューシーなオレンジ色の果肉が特徴。北海道のメロン出荷量は全国2位。



両手の親指と人さし指を圓のようにあわせ、左右なめ上へあげながらとじる

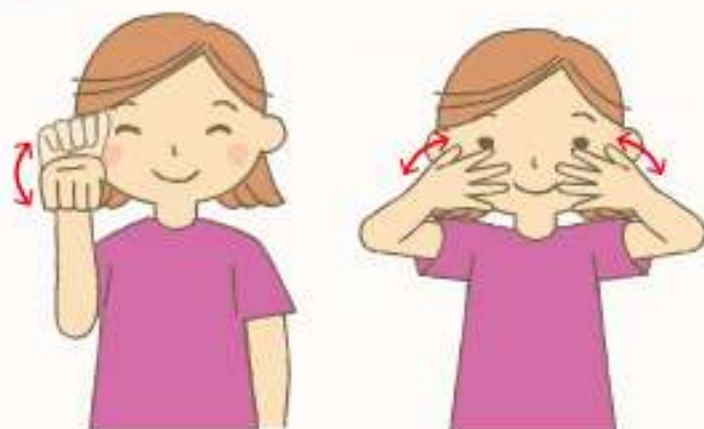
切ったメロンの形だわ

手話にも方言はあるの？

日本語に方言があるように、手話も地域によってことなる表現があります。また、年代によってもことなることがあります。そのちがいをみていきましょう。

ネコ

全国に多い手話は、ネコが顔をこするときの前足のように、片手をあげて手首を前にたおす表現(㊸)。ほかには、ネコのひげをあらわす手話もあります(㊹)。



㊸ネコの前足の動きをあらわす

㊹ネコのひげをあらわす

近畿地方の一部のおとしよりの圏では、ひげを表現する手話が多くみられます。



ネコのひげをあらわす手話がみられる地域

たまご

「たまご」は、殻を割る手の動きであらわします。手で割るだけのしぐさ(㊺)や、テーブルなどに打ちつけて割るしぐさの手話が多く使われています。



㊺たまごをパカッと割る

㊻たまごをすかして見てから割る

ユニークなのは、秋田県、埼玉県、長野県のおとしよりにみられる手話。たまごが新鮮かたしかめるため、中をすかして見てから割るしぐさ(㊻)がみられます。

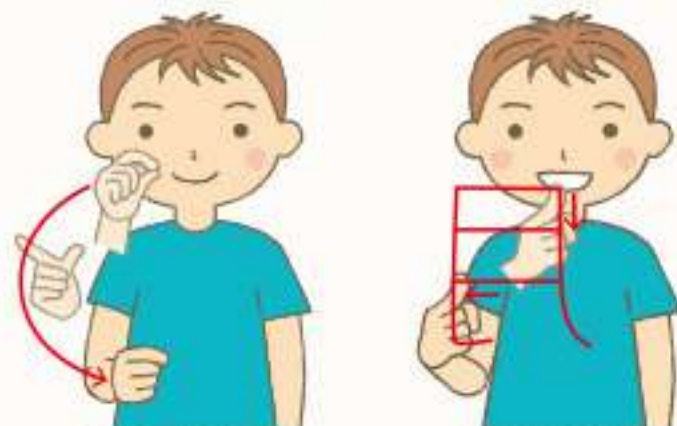


たまごをすかして見てから割る手話がみられる地域

月曜日

「月曜日」をあらわすときは「月」をもちいることがほとんどで、多くは、親指と人さし指で

三日月をえがく動き(㊼)をします。また、「月」という漢字を指でえがく(㊽)手話もみられます。



㊼指をたてにうごかして三日月をえがく

㊽「月」という漢字を指でえがく



「月」という漢字を指でえがく手話がみられる地域

年代によるちがい

ピンク色

若い人の多くは、丸めた左右の手をつけて「ももの形」をつくること(㊿)で、「ピンク色」をあらわしています。年齢が高くなると、指でほほをさわる手話(㊽)がみられます。「ピンク色はほほの色」なので

すね。ほほをさわる以外に、「赤色」をあらわすくちびるをさして「少し」の手話をつけることでピンク色をあらわす手話(㊾)も、多くみられます。



㊿丸めた左右の手をあわせて、ももの形

㊽指でほほを丸くさわる

㊾くちびるをさして色をあらわし、そのあとで親指と人さし指の端をせばめて「少し」になると「ピンク色」

参考：筑波大学障害者福祉学教育研究センター 大石麗子「日本手話方言地図(試行版)」<http://www.deashudies.jp/ougi/jmap/>
*地図中のデータは2009年

調べてみよう

全国の都道府県には、耳の聞こえない人の団体があつて、地域の手話に熱心をもつたら、どんな手話あるか聞いて合わせるなどして、調べてみましょう。地域の手話の本を発行している都道府県もあります。(https://www.jfd.or.jp/about/kameiv)

ヨーロッパ ③

南ヨーロッパ

グラスを
まわして
かおりを
かぐよ



ワイン



図のように3本の指をたて「W」の形にして口もとで水平にまわす

ぶどうの果汁を発酵させたお酒。フランスをはじめヨーロッパ各地でワインづくりがさかん。

ローマ



ローマでは、コロッセオなど古代ローマ帝国時代の遺跡めぐりができる。



ローマは
交易の十字路

3本の指を下に向けて、半回転をくりかえす



イタリアのパスタは種類が豊富。ローマやナポリなど、地域によって味もことなり、長さもさまざま。

パスタ

フォークでパスタをまくようす



オリーブ



イタリア料理やスペイン料理に欠かせないオリーブ。生産量はスペインが世界一。



スペイン

手のひらで髪をなでおろしてから指文字「お」をつくり



オリーブの実を髪にかざるとよ

そのまま手を髪にあてる

チョキをとじた両手を交差させて軽く、2回たたく

イタリア

地中海



ヨーロッパとアフリカにかこまれた海。気候は温暖で、雨は少ない。古くからさまざまな文明がさかえた。

ヨーロッパ (Europe) の「É」



上に左手で指文字「え」をつくり、その下に右手の指を下にたらすようにおき



左手はそのまま、右手を図のように波うたせながら横へうごかす

教会



ローマの中にある世界最小の国、バチカン市国の中心部にはキリスト教会のサン・ピエトロ大聖堂がそびえる。

十字架よ



両手の人さし指を交差させて「+」の形をつくり



教会の屋根の形

「遠い」と「走る」で「マラソン」よ

両手を図のようにあわせ、右手だけカーブをえがきながら前へだし「遠い」

ギリシャ

ピザ

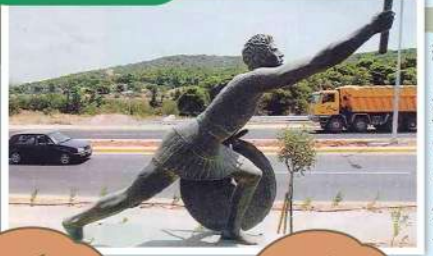


日本人も大好き、トマトとチーズがのったマルゲリータピザは、イタリア南部で生まれた。ピザも地域ごとに生地や味がことなる。

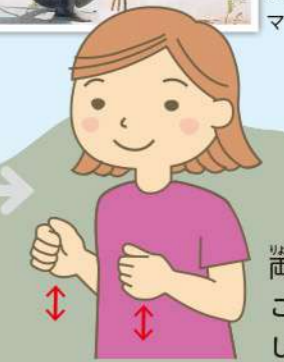


親指と人さし指でピザをはさんでもつしぐさをして、口もとから前へ出す

マラソン



紀元前5世紀のペルシャ(イラン〜トルコ)との戦争に勝ったことを報告するために、マラトンからアテネまで1人の兵士が走ったという伝説からマラソンが生まれた。



両脇をしめて両手のこぶしを同時に上下して「走る」

日本とのつながり

オリンピック



古代オリンピックは、ギリシャのオリンピアで紀元前776年から約1200年つづき、近代オリンピックは1896年にアテネで第1回大会がひらかれた。

オリンピックのシンボルの輪のイメージ



両手の親指と人さし指で輪をつくり、その2つの輪をつなぐ動作を上下の手をいれかえながら左から右へ3回おこなう

日本でおこなわれるオリンピックも、聖火はギリシャのオリンピアからやってくる。

オリンピックの聖火は、ギリシャの古代オリンピア遺跡で、太陽の光を凹面鏡で集めて火をつけ、開催地まではこぼれます。オリンピックが日本でおこなわれるときは、聖火はギリシャから航空機で日本にはこぼれ、国内をリレーして聖火台に点火されます。聖火とよばれるのは、オリンピアで採火された火だけです。